

2022年11月15日

大規模災害を想定した、本番さながらの訓練 11月15日(火) 玉川上水車両基地において 「2022年度 総合復旧訓練」を実施しました

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:喜多村 樹美男)では、11月15日(火)、玉川上水車両基地(東京都東大和市)において、「2022年度 総合復旧訓練」を実施しました。

これは、大規模災害による事故を想定し、災害が発生した際にも、お客さまの安全を最優先に、早期の復旧ができるよう、毎年実施している当社最大規模の実践的な訓練です。

西武グループでは、「ESG」に関する活動を「サステナビリティアクション」としてグループ全体で取り組んでおり、本訓練は、当社が特に取り組むべき4領域(安全、環境、社会、会社文化)の内、「安全」に係る取り組みとなります。

詳細は、以下のとおりです。

1. 訓練日時

2022年11月15日(火)10時00分~12時30分

2. 訓練想定

線状降水帯が発生し、西武線沿線ですら約8時間に渡り猛烈な雨が降り続いた。この影響で、池袋線の入間市駅~仏子駅間で線路内に土砂が流入、これに列車が衝突脱線した。また、架線損傷など、鉄道施設にも多くの被害が出たことから、特定災害対策本部を設置することになった。

なお、この衝撃で電車内の乗客には、重傷者を含む負傷者が発生。電車は全線で運転見合わせとなり、ターミナル駅では、帰宅困難者が発生する事態となった。

3. 訓練内容

- ・列車脱線事故発生時の対応訓練
- ・お客さまの避難誘導訓練
- ・踏切遮断機倒壊に伴う復旧訓練
- ・電車線不具合発生に伴う復旧訓練
- ・線路変位発生に伴う復旧訓練
- ・トラックマスターによる軌道検査訓練
- ・ガス切断機を用いた前面スカート撤去訓練
- ・脱線復旧機材を用いた車両復旧訓練
- ・被害者に対する支援訓練
- ・帰宅困難者対応訓練(西武バスと連携) など



4. 訓練の様子

【運輸部による避難誘導訓練】

乗車中や駆け付けた社員およびお客さまの協力を得て、車両に設置した非常梯子などで、すべてのお客さまに降車してもらい、最寄りの駅へ避難・誘導する想定で訓練を行いました。

【工務部による線路変位の復旧訓練】

ゆがんだ線路を人力で元に戻し、道床碎石の流出した箇所
に碎石を投入後、振動工具を用いて碎石の搗き固めをする訓練
を行いました。



【車両部によるガス切断機を用いた前面スカート撤去訓練】

簡易ガス切断機を使用し、電車の前面スクートを3分割に
切断し、撤去しやすい大きさにしてから、前面スクートを撤去
する訓練を行いました。



【電気部による電車線不具合復旧訓練】

外れたハンガー(トオリ線を吊るための金具)を取り付け、
ゆがみが生じたトオリ線を真っ直ぐにする訓練を行いました。



5. 訓練参加人数

西武鉄道社員:152名、西武バス社員:8名、北多摩西部消防署員:12名

6. その他

新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止を目的に、見学・乗客役をしていただくお客さまの募集は
行わずに実施しました。

「西武グループサステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョンに基づき、持続可能な社会の実現に向
けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通して創
造する社会価値として「4領域と12アジェンダ(重点テーマ)」を設定し、積極的に取り組ん
でいます。詳細ページ:<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>



●今回の取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(04)2996-2888
音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。
[営業時間: 9時~17時(全日)]

以上